

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	三原市立南小学校	校長	新庄 直子	担当者名	森林 竜也
取組事例名 『ペア学年で協力して競い合う，南小文武不岐クラスマッチの取組』					
生徒指導に係る連携体制の確立		カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話		○	主体的な活動を通じた絆づくり
取組における育てたい資質・能力					
主体性・コミュニケーション力					
取組のねらい					
5・6年生のペアで活動することにより，学級やペア集団への所属感を持たせるとともに，多様な活動設定により，自ら役割を見つけ主体的に活動し，自己有用感を持たせる。					
取組の具体的内容			取組の創意工夫		
<p>○クラスマッチ実行委員会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級の代表者による実行委員会を設置する。 <p>○実行委員による各学級の意見集約</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員は各学級の意見集約，実行委員会での審議事項の報告をおこなう。 <p>○種目・配点等の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> 「文」（学習に関する種目）「武」（運動に関する種目），応援態度の三観点で配点を行い，児童の自発的・主体的な活動を促す。 <p>○ペア学級・各学級での取組目標の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ペア学級での目標設定（6年生主導） 学級での目標設定（実行委員主導） <p>○自主的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 休憩時間の練習（異学年での声かけ） 学習の教え合い 応援グッズ作成，応援練習 <p>○クラスマッチ本番</p> <ul style="list-style-type: none"> 「武」2種目及び応援 代表リレー 半数の児童が競技中，半数の児童は応援をする。 <p>○振り返り・次回に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級で集団づくりについて学んだことを振り返る。 			<p>○実行委員会制度を取り入れることで，児童主体の活動とするとともに，役割の中で児童のリーダー性を育てる。</p> <p>○応援・態度の項目を設けることにより，グッズ作成や応援団など，児童が多様な役割を設定できるようにする。</p> <p>○5・6年一学級ずつをペアにすることで，6年生には最高学年の自覚を促し，5年生は6年生の姿から学べるようにする。</p> <p>○「文」の分野を先行して実施することで，「武」についての達成目標と練習計画を主体的に改善できるようにする。</p> <p>○実行委員に会の進行や審判等，当日必要な役割の教職員への依頼などを任せ，主体的に行動できる場をつくる。</p> <p>○ペア集会・学級会を活用して学びを振り返り，第2回への動機づけを行う。</p>		
取組の成果と課題					
<p>○Hyper-QU 学級満足群の割合 5年 32%⇒39% 6年 50%⇒56%</p> <p>活動を通して多様な活躍の場を児童が自ら見出すことで，学級及びペア学級で団結して取り組むことにより，自己有用感や所属感を高めることができた。</p> <p>●カリキュラム・マネジメントの視点で，他の学習とより効果的に関連させる必要がある。</p>					